

## 中国自然歩道 川床・一向平コース案内

中国自然歩道の、この 9 キロメートルの区域は、大山の長い歴史が感じられる美しいハイキングコースだ。歩道は、以前は大山寺へと続いていた四つの道のうち最も急な、旧川床登山道の一部を通る。川床登山道は赤崎、関金、倉吉地区と大山をつなげている。密宗である真言宗が平安時代（794 年 - 1185 年）初期に栄えていた頃、川床登山道は倉吉の東にある三徳山の真言宗寺と、大山にある真言宗の修行所を結ぶ修験道であった。

川床・一向平コースの区間では、大山の素晴らしい風景がいくつも見られる。その中心は古くから茂っているブナ原生林を抜けて大休峠へと伸びる。大山には西日本最大級のブナ林が広がり、野生動物、特に鳥たちの生育地である。歩道は 42 メートルの高さから地獄谷へと落ちる日本屈指の滝、大山滝にも続いている。

一向平キャンプ場は歩道の起点であり、ビジターセンター、キャンプ場、トイレ、駐車場がある。